



Solaris 7 Maintenance Update 3 について 使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
901 San Antonio Road
Palo Alto, CA 94303-4900
U.S.A.

Part No: 806-1359-10
1999 年 9 月

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

RESTRICTED RIGHTS: Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions of FAR 52.227-14(g)(2)(6/87) and FAR 52.227-19(6/87), or DFAR 252.227-7015(b)(6/95) and DFAR 227.7202-3(a).

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョーベイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, docs.sun.com, AnswerBook, AnswerBook2, Solaris 7 Maintenance Update, Solstice AutoClient, JumpStart, NFS, Solstice AdminSuite, OpenWindows は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Solaris 7 Maintenance Update 3 Release Notes

Part No: 806-1175-10

Revision A

© 1999 by Sun Microsystems, Inc.



目次

- はじめに v
- 1. 概要 1
- 2. **Solaris 7 MU3** のインストール 3
 - インストール時間について 3
 - 必要条件 4
 - スタンドアロンシステムへの **MU3** のインストール 5
 - サーバーからディスクレスクライアントまたは **Solstice AutoClient** へのインストール 11
 - `install_mu` によるインストール 13
 - `special patch` のインストール 15
 - スタンドアロンシステムへの `special patch` のインストール 17
 - ディスクレスクライアントまたは **Solstice AutoClient** への `special patch` のインストール 19
 - Solaris 7 MU** のバージョンの確認 20
- 3. **Solaris 7 MU3** のバックアウト 21
 - スタンドアロンシステム上でのバックアウト 21
 - サーバーからディスクレスクライアントまたは **Solstice AutoClient** 上の **MU3** をバックアウトする 26
- 4. 既知の問題 29
 - インストールに関するバグ 29

install_mu を sh で起動すると正常に動作しない (bug ID 4062334) 29

install_mu が /tmp ディレクトリにファイルを残す (bug ID 4108278) 29

Patchadd が終了メッセージを表示する 30

バックアウトに関するバグ 31

ディスクレスクライアントがヨーロッパ言語 ISO8859-15 ロケールにロ
グインできない (bug ID 4255087) 31

5. エラーメッセージ 33

A. **Solaris 7 MU3** の内容 41

パッチリスト (SPARC 用) 41

パッチリスト (Intel 用) 51

はじめに

『Solaris™ 7 Maintenance Update™ 3 ご使用にあたって』では、Solaris 7 Maintenance Update 3 (以降、MU3 とします) をインストールする方法について説明します。

Sun のマニュアルの注文方法

Sun Software Shop プログラムを利用して、米国 Sun Microsystems™, Inc. (以降、Sun™ とします) のマニュアルまたは AnswerBook2™ CD をご注文いただけます。

マニュアルのリストと注文方法については、<http://www.sun.com/software/shop> を参照してください。

Sun のオンラインマニュアル

<http://docs.sun.com> では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>system%</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	<code>system% su</code> <code>password:</code>
AaBbCc123	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を越える場合に、継続を示します。	<code>sun% grep `^#define \</code> <code>XV_VERSION_STRING`</code>

ただし AnswerBook2 では、ユーザーが入力する文字と画面上のコンピュータ出力は区別して表示されません。

コード例は次のように表示されます。

■ C シェルプロンプト

```
system% command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$ command y|n [filename]
```

- スーパーユーザーのプロンプト

```
system# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

一般規則

- 「x86」という用語は、一般に Intel 8086 ファミリに属するマイクロプロセッサを意味します。これには、Pentium、Pentium Pro、Pentium II、Pentium II Xeon、Pentium III、Celeron の各プロセッサ、および AMD、Cyrix が提供する互換マイクロプロセッサチップが含まれます。このマニュアルでは、このプラットフォームのアーキテクチャ全体を指すときに「x86」という用語を使用し、製品名では「Intel 版」という表記で統一しています。

概要

『Solaris 7 Maintenance Update 3 ご使用にあたって』では、Solaris 7 MU3 をインストールする方法について説明します。MU3 は、インストール時にパッチの検査を統合的に行い、1つの手順でインストールできるようにパッケージされたパッチのセットです。このマニュアルは、MU3 をインストールするシステム管理者を対象としています。システム管理に関する一般的な手順の詳細は、『Solaris のシステム管理 (第 1 巻)』および『Solaris のシステム管理 (第 2 巻)』を参照してください。

Solaris 7 MU3 は、Solaris 7 が稼動しているシステムであればどのロケールでも適用できます。インストールを行うと、システムにインストール済みのパッチを元に戻すことなく、以前インストールしたパッチを自動的に更新します。

MU3 は、Solaris オペレーティング環境を検証されたパッチレベルまで更新するために設計されています。特定のパッチだけをインストールする場合は、通常のサポートチャネルを通じて行なってください。

Solaris 7 MU3 Intel 版には、既存のドライバサポートに対するバグ修正と性能の改善が含まれています。ただし、ハードウェアをアップグレードする場合は、Solaris 7 Maintenance Update 3 CD (以降、MU3 CD とします) ではなく Solaris 7 - 8/99 CD を使用してください。

注 - この製品名は Solaris 7 MU3 ですが、コード、パス名またはパッケージパス名には Solaris 2.7 または SunOS™ 5.7 が使用されている場合があります。このマニュアルに記載されているとおりのコードあるいはパス名を使用してください。

Solaris 7 MU3 のインストール

この章では、スタンドアロンシステムに、あるいはサーバーからディスクレスクライアントまたは Solstice AutoClient™ システムに Solaris 7 MU3 をインストールする方法について説明します。カスタマイズした JumpStart™ (自動インストール) プロセスの一環として Solaris 7 MU3 をインストールする場合は、『Solaris のインストール (上級編)』を参照してください。

インストール時間について

Solaris 7 MU3 のインストール手順に従えば、MU3 パッチを個別にインストールする場合に比べてかなりの時間を短縮できます。Solaris 7 MU3 のインストール時間は、次の項目によって異なります。

- マシンの CPU スピード
- 選択した `install_mu` オプション
- `install_mu` コードとパッチセットにアクセスするために使用する CD-ROM ドライブ、ハードディスク、またはネットワークの転送速度

バックアウトオプションを無効にして MU3 をインストールする場合、インストールはさらに速くなります。ただし、MU3 が提供するパッチはバックアウトできません。

初期インストールを実行している場合に、`install_mu` を少しでも速く実行させるには、`-u` オプションを指定します。このオプションは `install_mu` の検査を省略

します。-u オプションを指定しない場合、更新するファイルが初期インストール後変更されていないかどうかを検証します。

必要条件

Solaris 7 MU3 は、Solaris 7 オペレーティング環境が稼動しているシステム上のみインストールできます。サーバー/クライアント環境では、サーバーとクライアントの両方で Solaris 7 が稼動している場合のみ MU3 をクライアントにインストールすることができます。

ファイルシステムごとに必要なディスク容量は次の項目によって異なります。

- バックアウトオプションを選択したかどうか
- バックアウトデータを保存するときのバックアウトディレクトリの位置
- ファイルシステムごとに利用可能なディスクパーティションおよびディスク容量と、それに対するファイルシステムごとに必要なパッチのディスク容量
- システムのロケール
- すでいくつかの MU パッチがシステムにインストールされているかどうか
- クライアント、サーバー、またはサービス領域のどれにパッチを適用するのか

install_mu スクリプトはファイルシステムごとに必要なディスク容量を算出して、その容量を報告します。可能であれば、バックアウトのディスク容量も報告します。容量の計算には数時間かかります。環境によっては、容量の計算に 10 時間以上かかる場合があります。

install_mu スクリプトは、1 つまたは複数のファイルシステムに容量が足りないと判断した場合、それ以上処理しません。パッチのインストールに必要な容量は正確に計算されますが、バックアウトデータに必要な容量は予測したものであり、実際に必要な容量よりも多く報告されることがあります。

パッチセット (および、必要であればバックアウトデータ) を適用するのに十分な容量があり、容量の計算を省略したい場合には、install_mu に -f オプションを付けて実行します。

スタンドアロンシステムへの MU3 のインストール

Solaris 7 MU3 をインストールするには、`install_mu` を実行するシステムと対象となるシステムで Solaris 7 がすでに稼動していなければなりません。

MU3 はシステムライブラリにパッチを適用するため、MU3 をインストールする前にシステムをシングルユーザーモードでリブートするのが最善の方法です。マルチユーザーの状態では MU3 をインストールすると、すでにマップされているライブラリのセクションとマップされていないそのライブラリのセクション間に不一致が起これ、そのライブラリは不安定な状態になります。

シングルユーザーモードでは、ネットワークサービスは使用できません。MU3 イメージが CD 上ではなくネットワーク上にある場合、シングルユーザーモードでシステムをブートする前に MU3 イメージをネットワークからローカルシステムにコピーしなければなりません。

十分なローカルディスク容量がないため MU3 イメージをローカルにコピーできない場合や CD がないまたはつながっていない場合、あるいはシステムをシングルユーザーモードにできない場合には、マルチユーザーモードで NFS™ を使用して MU3 をインストールすることになります。この場合、システムをできるだけ静かな状態（つまり、ユーザーがすべてログアウトし、実行されているジョブがない状態）にしておく必要があります。

注 - 必ずオペレーティングシステムのバックアップをとった後、手順を進めてください。

システムがディスクレスクライアントまたは Solstice AutoClient システムとサービス領域を共有する場合は、システムに MU3 をインストールした後、そのサービス領域を使用しているクライアントごとに `-R` オプションを付けて `install_mu` を実行する必要があります。また、異機種のクライアントに対してはシステムのサービス領域に MU3 をインストールするため、`-s` オプションを付けて `install_mu` を実行する必要があります。この操作を行わないと、パッチが正しく適用されず、クライアントが不安定になります。

Solaris 7 MU3 をインストールするには、次の手順に従います。

1. 重要なユーザープロセスまたはシステムプロセスが実行されていないことを確認します。
2. 現在のセッションを終了します。

CDE ログイン画面が表示されます。

3. 「オプション」ボタンをクリックして、「コマンド行ログイン」を選択します。
ログインプロンプトが表示されます。
4. ログイン名として `root` と入力し、**root** のパスワードを入力します。

```
login: root
password: root password
```

5. シングルユーザーモードでリブートします。**root** のシェルプロンプトで次のように実行します。

```
# reboot -- -s
```

注 - `shutdown` または `init` コマンドで実行レベルをマルチユーザーモードからシングルユーザーモードへ変更すると、`vold` プロセスが実行されたままになることがあります。この状態で MU3 CD をマウントしようとする、問題が発生することがあります。

6. **root** のパスワードを入力します。
システムが次のメッセージを表示し、システム保守モードになっていることを確認します。

```
Entering System Maintenance Mode
Sun Microsystems Inc. SunOS 5.7 Generic October 1998
#
```

- CD から `install_mu` を実行している場合は、7ページの手順7に進みます。

- MU3 イメージのローカルコピーから `install_mu` を実行している場合は、7 ページの手順 8 に進みます。

7. **MU3 CD** をマウントするには、**CD** をドライブに挿入し、**root** のシェルプロンプトで次のように実行します。

```
# mount -o ro -F hsfs /dev/dsk/c0t6d0s0 /cdrom
```

注 - CD-ROM ドライブが `c0` 以外のコントローラにあるか、`t6` 以外のターゲットにあることがあります。この場合は CD-ROM デバイスへのパスを変更する必要があります。CD-ROM ドライブのマウントについては、システム管理者に問い合わせてください。

8. `install_mu` を実行します。

- MU3 イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory  
# ./install_mu any desired options
```

- MU3 CD から実行するには、次のように入力します。

```
# cd /cdrom
# ./install_mu any desired options
```

注 - install_mu スクリプトはファイルシステムごとに必要なディスク容量を算出して、その容量を報告します。容量の計算には数時間かかります。環境によっては、容量の計算に 10 時間以上かかる場合があります。

パッチセット (および、必要であればバックアウトデータ) を適用するのに十分な容量があり、容量の計算を省略したい場合には、install_mu に -f オプションを付けて実行します。

以下のオプションがコマンド行で使えます。

表 2-1 install_mu のコマンド行オプション

オプション	説明
-u	無条件のインストール。更新されるファイルが初期インストール状態から変更されているかどうかを検証しない
-d	パッチをバックアップしない。この引数を使うとソフトウェアのインストールに要する時間が短縮される。ただし、個々のパッチをバックアウトできなくなる。-B オプションと組み合わせて使うことはできない
-p <i>patchdir</i>	すべてのパッチが含まれているディレクトリを指定する
-q	install_mu の処理状況を示すドットの表示を無効にする
-B <i>backoutdir</i>	指定したディレクトリにバックアウトデータを保存する。-d オプションと組み合わせて使うことはできない
-f	十分なディスク容量があるかどうかをチェックせずに、パッチセットをインストールする。このオプションを使用すると時間が短縮される。ただし、このオプションを使用するときは、十分な容量があることを確認しておく。-D オプションと組み合わせて使うことはできない

表 2-1 install_mu のコマンド行オプション 続く

オプション	説明
-D	事前計算モード。パッチを適用せずに、必要なディスク容量を報告する。-f オプションと組み合わせて使うことはできない
-R <i>rootdir</i>	代替ルートディレクトリを指定する。クライアントのルート領域である <i>rootdir</i> 以下のディレクトリツリー内にあるパッケージシステム情報に MU3 を適用するときに使用する。-S オプションと組み合わせて使うことはできない
-S <i>servicedir</i>	代替サービス領域を指定する。Solaris のバージョンが異なる場合、またはサーバーとクライアントのアーキテクチャが異なる場合は、そのサービス領域に MU3 を適用するときに使用する。-R オプションと組み合わせて使うことはできない

インストールが終了すると、次のメッセージが表示されます。

```
install_mu completed successfully.
```

- このメッセージが表示された場合は、9ページの手順9に進みます。
- エラーが発生した場合は、第5章を参照してください。

9. 次のように入力して、システム上で実行している **Solaris** のリリースを調べます。

```
# cat /etc/release
```

Solaris プラットフォームのバージョンと日付が表示されます。

```
Solaris 7 s998_21a12b SPARC
Copyright 1998 Sun Microsystems, Inc. All Rights Reserved.
Assembled 06 October 1998
```

表示された Solaris プラットフォームのバージョンと日付を次の表と比較して、special patch をインストールする必要があるかどうかを決めます。

	October 1998	January 1999	April 1999
SPARC	インストールする必要あり	インストールする必要なし	インストールする必要なし
Intel	インストールする必要あり	インストールする必要あり	インストールする必要なし

- special patch をインストールする必要がある場合は、15ページの「special patch のインストール」に進んでインストールを完了します。
- special patch をインストールする必要がない場合は、10ページの手順 10 に進んでインストールを完了します。

10. 次のように実行してシステムをリブートします。

```
# sync ; reboot
```

ログインプロンプトが表示されます。

注 - ライブラリの衝突を防ぐために、MU3 をインストールした後に必ずシステムをリブートしてください。

11. ログイン名とパスワードを入力します。

```
login: login
password: password
```

サーバーからディスクレスクライアントまたは Solstice AutoClient へのインストール

マルチユーザーモードで、サーバーからディスクレスクライアントまたは Solstice AutoClient システムに Solaris 7 MU3 をインストールできます。ただし、クライアントを追加しないと `install_mu` を実行できません。クライアントに対して MU3 をインストールする場合、マルチユーザーモードでインストールすることは可能ですが、MU3 をインストールする前にシステムをシングルユーザーモードでリブートするのが最善の方法です。Solstice AdminSuite™ 製品の使用方法の詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』、または『Solaris 7 インストールライブラリ (Intel 版)』を参照してください。

Solaris 7 MU3 をクライアントサーバー環境にインストールする場合、`admclientpatch` と `install_mu` のどちらを使用するかを決定する必要があります。次の表を参照して、どちらの方法を使用するかを決定します。

表 2-2 `admclientpatch` と `install_mu` の違い

	<code>admclientpatch</code>	<code>install_mu</code>
パッチを適用する速さ	遅い	速い
サービス領域の処理	自動	手動
パッチの適用しやすさ	複雑	簡単
AdminSuite との統合	完全	なし

`admclientpatch` は、AdminSuite のユーティリティで、管理対象のクライアント群にパッチコレクションのインストールまたは削除を行うツールです。`install_mu` により MU パッチセットを適用すると、AdminSuite 製品のパッチ管理プロセスが省略されるため、複数のクライアントで共有するパッチセットを管理するのが難しくなります。これは、クライアント数が多い場合や、MU セット以外のパッチがインストールまたは削除されている場合に問題になります。

`admclientpatch` はクライアントのサービス領域に自動的にパッチを適用します。`install_mu` を使用する場合、まず、クライアントごとに `-R` オプションでパッチを適用し、次にサービス領域ごとに `-S` オプションを付けて `install_mu` を実行

しなければなりません。1つのサービス領域を複数のクライアントが共有している場合、`install_mu` に `-s` オプションを付けて1回実行するだけでかまいません。この手順に従えば、クライアントのサービス領域とルート領域の整合性が保たれます。

`install_mu` を使用すると、より速くクライアントにパッチを適用できます。これは、`admclientpatch` パッチ管理プロセスが省略され、また、`admclientpatch` の場合には新しいパッチを適用する前に古いリビジョンのパッチが削除されるためです。クライアント数とサービス領域の数が少ない環境でクライアントとサービス領域にパッチを適用するには、`install_mu` の方が便利です。

`install_mu` は MU3 パッチをセットとして認識するため、簡単に使用できます。MU3 パッチディレクトリには、パッチの必要条件を考慮して、適用するすべてのパッチを正しい順序でリストしたファイル (`.order`) が入っています。`admclientpatch` でクライアントにパッチを適用するには、`.order` ファイルを読み取り、`admclientpatch` スプール領域にパッチを適用し、次に `admclientpatch` を実行してクライアントにパッチをインストールするようなスクリプトを作成します。`-D` (事前計算) オプションを付けて `install_mu` を実行すると、`.order` ファイルの位置がわかります。

クライアントとパッチの管理についての詳細は、<http://docs.sun.com> にある『*Solstice AutoClient 2.1 管理者ガイド*』を参照してください。

注 - `install_mu` は、サーバー/クライアント環境へのインストールをサポートしています。`install_mu` はサーバー自身、そしてサーバーのディスク上にあるクライアントのルート領域に MU3 をインストールすることができます。またサーバーのディスク上にある SPARC™ または x86 クライアント内のサービス領域内に MU3 をインストールすることができます。MU3 をインストールできるサーバー/クライアント環境は以下のとおりです。

- サーバーが SPARC、クライアントが SPARC
- サーバーが SPARC、クライアントが x86
- サーバーが x86、クライアントが SPARC
- サーバーが x86、クライアントが x86

MU3 をインストールできるのは、Solaris 7 オペレーティング環境を稼動しているシステムのみです。クライアント/サーバー環境では、クライアントとサーバーの両方が Solaris 7 オペレーティング環境を稼動している場合にのみ、MU3 をクライアントにインストールすることができます。

install_mu によるインストール

install_mu を使用してサーバーからディスククライアントまたは AutoClient システムへ Solaris 7 MU3 をインストールするには、次の手順に従います。

1. ディスククライアントまたは **AutoClient** システムを停止します。
2. サーバー上で、次のようにクライアントのルートディレクトリを引数として指定して、**MU3** のディレクトリにある install_mu スクリプトを実行します。
 - クライアントのプラットフォームに対応する MU3 イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory
# ./install_mu -R /export/root/client_name
```

client_name にはディスククライアントまたは AutoClient のホスト名を指定します。

- MU3 CD から実行するには、CD をマウントし、次のように入力します。

```
# cd /cdrom/s7_maintenance_update_3_platform
# ./install_mu -R /export/root/client_name
```

platform にはディスククライアントまたは AutoClient システムのアーキテクチャである sparc または x86、*client_name* にはディスククライアントまたは AutoClient システムのホスト名を指定します。

注 - install_mu スクリプトはファイルシステムごとに必要なディスク容量を算出して、その容量を報告します。容量の計算には数時間かかります。環境によっては、容量の計算に 10 時間以上かかる場合があります。

パッチセット (および、必要であればバックアウトデータ) を適用するのに十分な容量があり、容量の計算を省略したい場合には、install_mu に -f オプションを付けて実行します。

3. 対象となるディスククライアントまたは **AutoClient** システムごとにこの手順を繰り返します。
4. **Solaris 7 MU3** をサーバーのサービス領域にインストールします。パッチが適用されるサービス領域に対応する **MU3** イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory
# ./install_mu -S Solaris_2.7
```

注 - サービス領域をサーバーと共有している場合は、サーバーのルート領域に同じ **MU** のパッチセットも適用する必要があります。適用しないと、パッチが正しく適用されず、サーバーが不安定になります。

注 - `install_mu` スクリプトはファイルシステムごとに必要なディスク容量を算出して、その容量を報告します。容量の計算には数時間かかります。環境によっては、容量の計算に 10 時間以上かかる場合があります。

パッチセット (および、必要であればバックアウトデータ) を適用するのに十分な容量があり、容量の計算を省略したい場合には、`install_mu` に `-f` オプションを付けて実行します。

5. 次のように入力して、システム上で実行している **Solaris** のリリースを調べます。

```
# cat /etc/release
```

Solaris プラットフォームのバージョンと日付が表示されます。

```
Solaris 7 s998_21a12b SPARC
Copyright 1998 Sun Microsystems, Inc. All Rights Reserved.
```

(続く)

Assembled 06 October 1998

表示された Solaris プラットフォームのバージョンと日付を次の表と比較して、special patch をインストールする必要があるかどうかを決めます。

	October 1998	January 1999	April 1999
SPARC	インストールする必要あり	インストールする必要なし	インストールする必要なし
Intel	インストールする必要あり	インストールする必要あり	インストールする必要なし

- special patch をインストールする必要がある場合は、15ページの「special patch のインストール」に進んでインストールを完了します。
- special patch をインストールする必要がない場合は、15ページの手順 6 に進んでインストールを完了します。

6. ディスクレスクライアントまたは **AutoClient** システムをブートします。

special patch のインストール

MU3 パッチの中には、Solaris 7 および Solaris 7-3/99 オペレーティング環境を稼動しているシステムに自動的にインストールされないものもあります。MU3 に含まれているパッチセットが完全に適用されるのは、Solaris 7-5/99 オペレーティング環境を稼動しているシステムのみです。Solaris 7 および Solaris 7-3/99 オペレーティング環境を稼動しているシステムに必要な MU3 パッチをすべて適用したい場合は、さらに special patch を適用する必要があります。

注 - 日本語のロケールで Solaris 7 を使用している場合は、他言語のパッチを適用する必要はありません。

Solaris SPARC 版 MU3 に含まれている special patch は次のとおりです。

表 2-3 Solaris SPARC 版の special patch

パッチ ID	オペレーティング環境のバージョン	special patch の説明
107367-01	Solaris 7	エストニア言語版で使用するコードセットに対するパッチ
107612-01	Solaris 7	ヨーロッパ言語版での、dtlogin 画面が表示される前の koi8-R -ow のハングに対するパッチ
107707-02	Solaris 7	アジア言語版での WOS メッセージの更新パッチ
107917-01	Solaris 7	一部のヨーロッパ言語版でサポートされない OpenWindows™ に対するパッチ
107935-01	Solaris 7	SUNW* を SUNW*os に修正する、ヨーロッパ言語版メッセージの更新パッチ
108082-01	Solaris 7	ヨーロッパ言語版の更新パッチ

Solaris Intel 版 MU3 に含まれている special patch は次のとおりです。

表 2-4 Solaris Intel 版の special patch

パッチ ID	オペレーティング環境のバージョン	special patch の説明
107368-01	Solaris 7	エストニア言語版で使用するコードセットに対するパッチ
107613-01	Solaris 7	ヨーロッパ言語版での、dtlogin 画面が表示される前の koi8-R -cde および -ow のハングに対するパッチ
107708-02	Solaris 7	アジア言語版での WOS メッセージの更新パッチ
107918-01	Solaris 7	一部のヨーロッパ言語版でサポートされない OpenWindows に対するパッチ

表 2-4 Solaris Intel 版の special patch 続く

パッチ ID	オペレーティング環境のバージョン	special patch の説明
107936-01	Solaris 7	SUNW* を SUNW*os に修正する、ヨーロッパ言語版メッセージの更新パッチ
108081-01	Solaris 7	ヨーロッパ言語版の更新パッチ
108088-02	Solaris 7	OpenWindows 3.6_x86 用の、共通ライブラリ、ddx、モニター、および構成に対するパッチ
108092-01	Solaris 7 - 3/99	OpenWindows 3.6_x86 用の、共通ライブラリ、ddx、モニター、および構成に対するパッチ

インストール時に special patch を適用する必要があると決定した場合は、実行中のインストールのタイプによって、次の手順に従ってください。

- 17ページの「スタンドアロンシステムへの special patch のインストール」
- 19ページの「ディスクレスクライアントまたは Solstice AutoClient への special patch のインストール」

注 - special patch のすべてをインストールするか、使用するシステムに必要な special patch だけをインストールするかを選択できます。上記の表の「special patch の説明」を参照して、システムにどのパッチが必要かを調べてください。各パッチの詳細は、各パッチの readme を参照してください。

スタンドアロンシステムへの special patch のインストール

1. special_patches ディレクトリへ移動します。
 - MU3 イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory/Solaris_7_MU3/platform/Patches/special_patches
```

- MU3 CD から実行するには、次のように入力します (シングルユーザーモードで CD-ROM をマウントして操作する場合)。

```
# cd /cdrom/Solaris_7_MU3/platform/Patches/special_patches
```

platform には *sparc* または *i386* を指定します。

2. special patch をインストールします。

- すべての special patch をインストールするには、次のように実行します。

```
# patchadd -M . patchlist
```

- 特定の special patch だけをインストールするには、次のように実行します。

```
# patchadd -M . patch_id patch_id
```

patch_id には、インストールする special patch の ID を指定します。複数のパッチをインストールする場合は、それぞれの special patch の ID を指定します。

3. 次のように実行して、システムをリブートします。

```
# sync ; reboot
```

ログインプロンプトが表示されます。

注 - 5ページの「スタンドアロンシステムへの MU3 のインストール」に記述されているライブラリの衝突を防ぐために、MU3 をインストールした後に必ずシステムをリブートしてください。

4. ログイン名とパスワードを入力します。

```
login: login  
password: password
```

ディスククライアントまたは **Solstice AutoClient** への **special patch** のインストール

1. `special_patches` ディレクトリへ移動します。

- MU3 イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory/Solaris_7_MU3/platform/Patches/special_patches
```

- MU3 CD から実行するには、次のように入力します (シングルユーザーモードで CD-ROM をマウントして操作する場合)。

```
# cd /cdrom/Solaris_7_MU3/platform/Patches/special_patches
```

`platform` には `sparc` または `i386` を指定します。

2. それぞれ次のコマンドを実行して **special patch** をインストールします。

- 各クライアントのルート領域にインストールする場合

- すべての `special patch` をインストールするには、次のように実行します。

```
# patchadd -R /export/root/client_root -M . patchlist
```

- 特定の `special patch` だけをインストールするには、次のように実行します。

```
# patchadd -R /export/root/client_root -M . patch_id patch_id
```

`patch_id` には、インストールする特定の `special patch` の ID を指定します。複数のパッチをインストールする場合は、それぞれの `special patch` の ID を指定します。

- サービス領域にインストールする場合

- すべての `special patch` をインストールするには、次のように実行します。

```
# patchadd -S Solaris_2.7 -M . patchlist
```

- 特定の `special patch` だけをインストールするには、次のように実行します。

```
# patchadd -S Solaris_2.7 -M . patch_id patch_id
```

patch_id には、インストールする special patch の ID を指定します。複数のパッチをインストールする場合は、それぞれの special patch の ID を指定します。

3. ディスクレスクライアントまたは **AutoClient** システムをブートします。

Solaris 7 MU のバージョンの確認

Solaris 7 MU のバージョンを確認するには、次のように実行します。

```
# cat /etc/release
```

Solaris 7 MU3 のバックアウト

Solaris 7 MU3 のパッチは、セットとしてインストール時にパッチの検査を行なっているため、安定性を最大限にするためバックアウト時もセットで使用してください。パッチのどれかを削除する必要がある場合は、Solaris 7 MU3 のインストール時に `install_mu` の `-d` オプションを使用しないでください。

個々のパッチをバックアウトする手順は、それぞれのパッチのディレクトリにあります。パッチのディレクトリは `$ROOTDIR/var/sadm/patch/` にあります。

注 - `install_mu` の `-d` オプションを使用した場合、MU 全体をバックアウトすることはできません。

システムがディスクレスクライアントまたは Solstice AutoClient システムとサービス領域を共有する場合は、システムに MU3 をインストールした後、そのサービス領域を使用しているクライアントごとに `-R` オプションを付けて `backout_mu` を実行する必要があります。この操作を行わないと、パッチが正しくバックアウトされず、クライアントが不安定になります。

スタンドアロンシステム上でのバックアウト

MU3 をバックアウトする前にシステムをシングルユーザーモードでリブートするのが最善の方法です。マルチユーザーの状態では MU3 をインストールすると、すでにマップされているライブラリのセクションとマップされていないそのライブラリのセクション間に不一致が起これ、そのライブラリは不安定な状態になります。

シングルユーザーモードでは、ネットワークサービスは使用できません。MU3 イメージが CD 上ではなくネットワーク上にある場合、シングルユーザーモードでシステムをブートする前に MU3 イメージをネットワークからローカルシステムにコピーしなければなりません。

十分なローカルディスク容量がないため MU3 イメージをローカルにコピーできない場合や MU3 CD がないまたはつながっていない場合、あるいはシステムをシングルユーザーモードにできない場合には、マルチユーザーモードで NFS を使用して MU3 をインストールすることになります。この場合、システムをできるだけ静かな状態 (つまり、ユーザーがすべてログアウトし、実行されているジョブがない状態) にしておく必要があります。

MU3 が提供する `backout_mu` スクリプトを使用すると、MU 全体をバックアウトできます。Solaris 7 MU3 をバックアウトするには、次の手順に従います。

1. 重要なユーザープロセスまたはシステムプロセスが実行されていないことを確認します。
2. 現在のセッションを終了します。
CDE ログイン画面が表示されます。
3. 「オプション」ボタンをクリックして、「コマンド行ログイン」を選択します。
ログインプロンプトが表示されます。
4. ログイン名として `root` と入力し、**root** のパスワードを入力します。

```
login: root
password: root password
```

5. シングルユーザーモードでリブートします。**root** のシェルプロンプトで次のように実行します。

```
# reboot -- -s
```

注 - shutdown または init コマンドで実行レベルをマルチユーザーモードからシングルユーザーモードへ変更すると、vold プロセスが実行されたままになることがあります。この状態で MU3 CD をマウントしようとする、問題が発生することがあります。

6. **root** のパスワードを入力します。

システムが次のメッセージを表示し、システム保守モードになっていることを確認します。

```
Entering System Maintenance Mode

Sun Microsystems Inc. SunOS 5.7 Generic October 1998
#
```

7. **special patch** をバックアウトする必要があるかどうかを確認します。

- 15ページの「special patch のインストール」の手順に従って special patch をインストールしていない場合は、23ページの手順 8 に進んでバックアウトを完了します。
- 15ページの「special patch のインストール」の手順に従って special patch をインストールしている場合は、パッチごとに次のコマンドを入力して、special patch をバックアウトする必要があります。

```
# patchrm patch_id
```

patch_id は special patch の ID です。

8. **backout_mu** コマンドを実行するメディアを確認します。

- CD から backout_mu を実行しようとしている場合は、23ページの手順 9 に進みます。
- MU3 イメージのローカルコピーから backout_mu を実行しようとしている場合は、24ページの手順 10 に進みます。

9. **MU3 CD** をマウントするには、**CD** をドライブに挿入し、**root** のシェルプロンプトで次のように実行します。

```
# mount -o ro -F hsfs /dev/dsk/c0t6d0s0 /cdrom
```

注 - CD-ROM ドライブが c0 以外のコントローラにあるか、t6 以外のターゲットにあることがあります。この場合は CD-ROM デバイスへのパスを変更する必要があります。CD-ROM ドライブのマウントについては、システム管理者に問い合わせてください。

10. backout_mu を実行します。

- MU3 イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory  
# ./backout_mu any desired options
```

- MU3 CD から実行するには、次のように入力します。

```
# cd /cdrom  
# ./backout_mu any desired options
```

表 3-1 backout_mu のコマンド行オプション

オプション	説明
-T <i>tooldir</i>	パッチツールディレクトリの位置を指定する
-q	backout_mu 処理中を示すドット表示を無効にする
-B <i>backoutdir</i>	パッチが保存されている代替ディレクトリを指定する
-R <i>rootdir</i>	代替ルートディレクトリを指定する
-S <i>servicedir</i>	代替サービス領域を指定する

表 3-1 backout_mu のコマンド行オプション 続く

バックアウトが完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
backout_mu completed successfully.
```

- このメッセージが表示された場合は、25ページの手順 11 に進んでバックアウトを完了します。
- エラーが発生した場合は、第 5 章を参照してください。

11. 次のように実行してシステムをリブートします。

```
# sync ; reboot
```

ログインプロンプトが表示されます。

注 - ライブラリの衝突を防ぐために、MU3 をバックアウトした後に必ずシステムをリブートしてください。

12. ログイン名とパスワードを入力します。

```
login: login  
password: password
```

サーバーからディスククライアントまたは Solstice AutoClient 上の MU3 をバックアウトする

backout_mu を使用してサーバーからディスククライアントまたは AutoClient システム上にある Solaris 7 MU3 をバックアウトするには、次の手順に従います。

1. ディスククライアントまたは **AutoClient** システムを停止します。
2. **special patch** をバックアウトする必要があるかどうかを確認します。
 - 15ページの「special patch のインストール」の手順に従って special patch をディスククライアントまたは Solstice AutoClient システムにインストールしていない場合は、26ページの手順3に進んで、バックアウトを完了します。
 - 15ページの「special patch のインストール」の手順に従って special patch をディスククライアントまたは Solstice AutoClient システムにインストールしている場合は、パッチごとに次のコマンドを入力して、special patch をバックアウトする必要があります。

```
# patchrm -R /export/root/client_name patch_id
```

client_name はディスククライアントまたは AutoClient システムのホスト名、*patch_id* は special patch の ID です。

3. サーバー上で、次のようにクライアントのルートディレクトリを引数として指定して、**MU3** のディレクトリにある backout_mu スクリプトを実行します。
 - クライアントのプラットフォームに対応する MU3 イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory  
# ./backout_mu -R /export/root/client_name
```

client_name にはディスククライアントまたは AutoClient のホスト名を指定します。

- MU3 CD から実行するには、CD をマウントし、次のように入力します。

```
# cd /cdrom/s7_maintenance_update_3_platform
# ./backout_mu -R /export/root/client_name
```

platform にはディスクレスクライアントまたは AutoClient のアーキテクチャである sparc または x86、*client_name* にはディスクレスクライアントまたは AutoClient システムのホスト名を指定します。

4. 対象となるディスクレスクライアントまたは **AutoClient** システムごとにこの手順を繰り返します。
5. **special patch** をバックアウトする必要があるかどうかを確認します。
 - 15ページの「special patch のインストール」の手順に従って special patch をサーバーのサービス領域にインストールしていない場合は、27ページの手順 6 に進んでバックアウトを完了します。
 - 15ページの「special patch のインストール」の手順に従って special patch をサーバーのサービス領域にインストールしている場合は、パッチごとに次のコマンドを入力して、special patch をバックアウトする必要があります。

```
# patchrm -S Solaris_2.7 patch_id
```

patch_id は special patch の ID です。

6. サーバーのサービス領域にある **Solaris 7 MU3** をバックアウトします。パッチが適用されるサービス領域に対応する **MU3** イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory
./backout_mu -S Solaris_2.7
```

注 - サービス領域をサーバーと共有している場合は、サーバーのルート領域から同じ MU のパッチセットも削除する必要があります。削除しないと、パッチが正しく適用されず、サーバーが不安定になります。

7. ディスクレスクライアントまたは **AutoClient** システムをブートします。

既知の問題

この章では、Solaris 7 MU3 のインストールと使用に関連する既知の問題について説明します。

インストールに関するバグ

install_mu を sh で起動すると正常に動作しない (bug ID 4062334)

sh(1) と ksh(1) とのやりとりに問題があるため、コマンド行から次のコマンドを実行したり、管理用スクリプトから install_mu を起動したりすると、install_mu は特定のパッチを正常にインストールしません。

```
# /bin/sh ./install_mu arguments
```

対処方法: コマンド行または管理用スクリプトから次のように install_mu を実行します。

```
# ./install_mu arguments
```

install_mu が /tmp ディレクトリにファイルを残す (bug ID 4108278)

install_mu は /tmp にファイルと作業ディレクトリを残します。そのファイルとディレクトリにより /tmp が一杯になり、システム上で問題を起こす可能性があります。

ます。/tmp に残されるファイルとディレクトリは、install* と SUNW* という形式です。

対処方法: install_mu の実行が完全に終了した後、install* と SUNW* というファイルおよびディレクトリが /tmp にはないかどうかを確認します。それらのファイルが root によって最近作成されていた場合は、それらを削除します。あるいは、MU3 をスタンドアロンマシンまたはサーバーにインストールした場合は、システムをリブートします。

Patchadd が終了メッセージを表示する

次のメッセージが install_mu によって表示されることがあります。

```
Installation of XXXXXX-YY failed:  
  Attempting to patch a package that is not installed.
```

ログファイルには、以下のメッセージが残されます。

```
One or more patch packages included in  
XXXXXX-YY are not installed on this system.  
  
Patchadd is terminating.
```

patchadd は、そのパッチの対象となるパッケージが Solaris 7 システムに入っていなかった場合、パッチを適用しません。このメッセージは、そういった理由で適用しなかったことを示しています。

たとえば、あるアーキテクチャのパッチを別のアーキテクチャのシステムにインストールしようとした場合 (sun4c システムに sun4u パッチをインストールするなど)、patchadd はそれを検知し、このメッセージを表示します。

このメッセージは、1 つまたは複数のパッケージが見つからない場合にも表示されます。管理者がパッケージを削除した可能性や、もともとインストールされていなかった可能性 (全体ディストリビューションより小さいクラスタをインストールした場合など) があります。ディスクレスクライアントと AutoClient システムの場合は、これが当てはまります。

対処方法: このメッセージは無視してください。

バックアウトに関するバグ

ディスクレスクライアントがヨーロッパ言語 ISO8859-15 ロケールにログインできない (bug ID 4255087)

異機種環境のクライアントサーバー環境において、special patch の 108081-01 または 108082-01 をバックアウトした後、ディスクレスクライアントからヨーロッパ言語 ISO8859-15 ロケールにログインすると dtlogin がハングします。ヨーロッパ言語 ISO8859-15 ロケールは次のとおりです。

表 4-1 ヨーロッパ言語 ISO8859-15 ロケール

ロケール	説明
de.ISO8859-15	ユーロドイツ語 (ISO8859-15)
de_AT.ISO8859-15	オーストリア (ISO8859-15)
en_GB.ISO8859-15	英国英語 (ISO8859-15)
es.ISO8859-15	ユーロスペイン語 (ISO8859-15)
fi.ISO8859-15	フィンランド (ISO8859-15)
fr.ISO8859-15	フランス語 (ISO8859-15)
fr_BE.ISO8859-15	ベルギー (ISO8859-15)
it.ISO8859-15	ユーロイタリア語 (ISO8859-15)
nl.ISO8859-15	オランダ (ISO8859-15)
nl_BE.ISO8859-15	オランダ/ベルギー (ISO8859-15)
pt.ISO8859-15	ポルトガル (ISO8859-15)
sv.ISO8859-15	ユーロスウェーデン語 (ISO8859-15)

special patch の 108081-01 または 108082-01 をバックアウトした後、次のエラーメッセージが画面に表示されます。

```
Backing out patch 108082-01...

pkgadd: ERROR: unable to create package object </usr/openwin/share/locale/da.ISO
8859-15/props/da.ISO8859-15>.
pkgadd: ERROR: unable to create package object </usr/openwin/share/locale/da.ISO
8859-15/props/de.ISO8859-15>.
.....
pkgadd: ERROR: unable to create package object </usr/openwin/share/locale/pt.ISO
8859-15/props/sv.ISO8859-15>.
```

対処方法：ディスクレスクライアントからヨーロッパ言語 ISO8859-15 ロケールにログインしないでください。これらのロケールにはサーバーからログインするようにしてください。

ヨーロッパ言語 ISO8859-15 ロケールにログインシステムがハングした場合は、次の手順に従います。

1. 別のマシンからそのクライアントにリモートログインします。

```
# rlogin client_name
```

client_name にはディスクレスクライアントのホスト名を指定します。

2. dtlogin と dtsession ジョブを強制終了します。

```
# kill -9 PID PID
```

PID には、dtlogin と dtsession のプロセス ID を指定します。

3. dtlogin を再起動します。

```
# /usr/dt/bin/dtlogin &
```


エラーメッセージ

install_mu と backout_mu 実行記録は /var/sadm/install_data ディレクトリにある Maintenance_Update_log ファイルと MU_Backout_log ファイルに記録されます。詳細ログファイルを調べて、インストールまたはバックアウトされなかったパッチまたはパッケージの追加情報がないかどうか確認します。

```
# more $ROOTDIR/var/sadm/install_data/log_file.mu_version_name.date_time
```

ここで、

- \$ROOTDIR は、更新したシステムのルートディレクトリです。たとえば、ローカルシステムの場合は / になり、ディスクレスクライアントの場合は /export/root/clientname になります。
- log_file は、完了したプロセスのログファイル名です。インストールの場合は、Maintenance_Update_log です。バックアウトの場合は、MU_Backout_log です。
- mu_version_name は MU のバージョンを表します (MU3 の場合は、Solaris_7MU3)。
- date_time は date +%y%m%d%H%M%S からコピーされた指定日時 (yyyymmddHHMMSS) です。

注 - \$ROOTDIR/var/sadm/install_data/log_file は最新の MU ログファイルへのシンボリックリンクです。

注 - 通常、エラーメッセージにはエラーの内容だけが表示され、エラーコード番号は表示されません。エラーコード番号が表示されるのは、`install_mu` または `backout_mu` を呼び出すスクリプトを書き、そのスクリプトで異常終了時の戻り値を知る必要がある場合だけです。

Error Code 1

signal detected.

`install_mu (backout_mu) is terminating.`

説明と対処方法: `Control-C` が押されて、`install_mu` (または、`backout_mu`) に割り込みが発生しました。プログラムを起動し直してください。`install_mu` をもう一度呼び出す場合は、以前適用したパッチについてのエラーメッセージがログファイルに現れます。このエラーメッセージは無視してください。

Error Code 2:

`install_mu (backout_mu) is unable to find the INST_RELEASE file for the target file system. This file must be present for install_mu (backout_mu) to function correctly.`

説明と対処方法: クライアントのルート領域にファイル `/var/sadm/system/admin/INST_RELEASE` が見つかりません。クライアントが適切に作成されなかったか、クライアントが壊れています。クライアントをバックアップして、削除し、作成し直してください。

Error Code 3:

`ERROR: Cannot find $xcommand which is required for proper execution of install_mu (backout_mu).`

説明と対処方法: `install_mu` と `backout_mu` を実行するには、特定のシステムユーティリティ (たとえば、`awk`、`sed`、`grep`) がサーバーの `/usr/bin` と `/usr/sbin` ディレクトリになければなりません。これらのユーティリティの 1 つがありません。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 4:

`The -B and -d arguments are mutually exclusive.`

説明と対処方法: `-d` オプションを使用すると、バックアウトデータは保存されません。`-B` オプションは、バックアウトデータを保存するディレクトリを指定し

ます。これら2つのオプションは一緒に使用できません。どちらか1つのオプションだけで、`install_mu` を起動し直してください。

Error Code 5:

The `-p` parameter must be a directory. `$uPATCHDIR` is not a directory.

説明と対処方法: `-p` オプションに指定した引数が有効なディレクトリではありません。有効なディレクトリを `-p` オプションに指定して、`install_mu` (または、`backout_mu`) を起動し直してください。

Error Code 6:

The `-B` parameter must be a directory. `$l` is not a directory.

説明と対処方法: `-B` オプションに指定した引数がディレクトリではありません。有効なディレクトリを `-B` オプションに指定して、`install_mu` (または、`backout_mu`) を起動し直してください。

Error Code 7:

Permissions on backout directory `$BACKOUTDIR` not adequate.

説明と対処方法: `-B` オプションに指定した引数が書き込み可能なディレクトリではありません。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 8:

The `-R` parameter must be a directory. `$ROOTDIR` is not a directory.

説明と対処方法: `-R` オプションに指定した引数がディレクトリではありません。有効なディレクトリを `-R` オプションに指定して、`install_mu` (または、`backout_mu`) を起動し直してください。

Error Code 9:

The `-S` parameter must be a directory. `/export/$l` is not a directory.

説明と対処方法: `install_mu` と `backout_mu` は、`-S` オプションに指定したサービス領域を `/export` 内で探します。現在、`-S` オプションに指定できる有効なサービス領域は `Solaris_2.7` だけです。`/export/Solaris_2.7` ディレクトリがなければなりません。このディレクトリがない場合は、サービス領域は存在しません。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 10:

Invalid option.

説明と対処方法: 指定したオプションを認識できません。表示された使用方法を読んで、install_mu (または、backout_mu) を起動し直してください。

Error Code 11:

Can't write to Log File: \$LOGFILE

説明と対処方法: install_mu と backout_mu は、そのログを \$ROOTDIR/var/sadm/install_data ディレクトリに書き込みます。この install_data ディレクトリが書き込み可能かどうかを確認して install_mu (または、backout_mu) を起動し直してください。スタンドアロンまたは -s オプションでサーバーのサービス領域に対して MU3 をインストールした場合は、\$ROOTDIR はそのシステムのルートディレクトリです。-R オプションでクライアントのルート領域にインストールした場合は、\$ROOTDIR はサーバーの /export/root/client-name です。

Error Code 12:

SUNWcar (core architecture root) package does not exist in \$ROOTDIR/var/sadm/pkg.

説明と対処方法: /var/sadm/pkg/SUNWcar ディレクトリがクライアントまたはサーバーのルート領域にありません。クライアントまたはサーバーが壊れています。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 13:

install_mu (backout_mu) only supports sparc and i386 architectures. install_mu (backout_mu) has detected ARCH=\$LPROC.

説明と対処方法: アーキテクチャが SPARC または i386 ではないシステムで install_mu (または、backout_mu) を実行しました。サポートされているプラットフォーム上で、install_mu (または、backout_mu) を起動し直してください。

Error Code 14:

-p parameter does not point to a directory containing a .order file. Looked in \$uPATCHDIR and in \$uPATCHDIR/\$MU_TOP/\$LPROC/Patches.

説明と対処方法: `install_mu` は指定されたディレクトリで `.order` ファイルを見つけることができませんでした。`.order` はパッチインストール順序を決めるためのファイルです。`install_mu` (または、`backout_mu`) は `$path_you_specified` と `$path_you_specified/MU/$arch/Patches` (`$arch` は `sparc` または `i386`) で `.order` ファイルを探します。`.order` ファイルがあるかどうかを確認して、`install_mu` (または、`backout_mu`) を起動し直してください。

Error Code 15:

```
install_mu cannot locate patch order (.order) file. Paths
searched: ./LPROC/Patches, $MU_TOP/LPROC/Patches, /cdrom/
cdrom0/LPROC/Patches ./uPATCHDIR, and ./uPATCHDIR/$MU_TOP/
LPROC/Patches.
```

説明と対処方法: パッチディレクトリを指定する `-p` オプションが `install_mu` (または、`backout_mu`) に指定されていません。したがって、`install_mu` (または、`backout_mu`) はパッチディレクトリを見つけることができません。`-p` オプションを指定して、`install_mu` (または、`backout_mu`) を起動し直してください。

Error Code 16:

```
You must be root to execute this script.
```

説明と対処方法: `install_mu` (または、`backout_mu`) を実行するには、`root` 権限が必要です。これは、`root` ユーザーだけがパッチを適用および削除できるからです。`root` としてプログラムを起動し直してください。

Error Code 17:

```
install_mu (backout_mu) can only patch version 2.7 systems.
Target system is version $TrgOSVers.
```

説明と対処方法: Solaris 7 が稼動していないサーバーまたはクライアントにパッチを適用しようとして、`install_mu` を実行しています。または、Solaris 7 が稼動していないサーバーまたはクライアントからパッチをバックアウトするため `backout_mu` を実行しました。Solaris 7 システムが稼動されている環境で `install_mu` および `backout_mu` を実行してください。

Error Code 18:

```
Directory with patch tools, $TOOLS DIR, not found.
```

説明と対処方法 : `install_mu` (または、`backout_mu`) は、MU3 に含まれるツールのディレクトリ (Tools) を見つけることができませんでした。MU3 をシステムにコピーしている場合、そのコピーしたものが壊れているか、変更されている可能性があります。MU3 をインストールし直してください。

Error Code 19:

```
$TOOLS DIR/patchadd (or patchrm) does not exist or is not executable.
```

説明と対処方法 : MU3 には、Solaris 7 に入っている `patchadd` と `patchrm` とは異なるバージョンのバイナリが含まれています。これらのどちらか 1 つがないか、そのバイナリを実行することができませんでした。MU3 をシステムにコピーした場合、そのコピーされたものが壊れているか、変更されている可能性があります。MU3 をインストールし直してください。

Error Code 20:

```
The service area must be Solaris_2.7.
```

説明と対処方法 : `-s` オプションは Solaris 7 サービス領域をサポートしています。`-s` オプションに引数 `Solaris_2.7` を指定して `install_mu` (または、`backout_mu`) を実行し、有効なサービス領域を指定してください。

Error Code 21:

```
The -S and -R arguments are mutually exclusive.
```

説明と対処方法 : MU3 をディスククライアントまたは AutoClient に適用 (または、バックアウト) する場合、`install_mu` (または、`backout_mu`) を 2 回起動する必要があります。1 回目は、`-R` オプションを指定して、クライアントのルート領域にパッチを適用 (または、バックアウト) します。2 回目は、`-s` オプションを指定して、クライアントのサービス領域にパッチを適用 (または、バックアウト) します。

Error Code 22:

```
Not enough disk space to apply entire patch set.
```

説明と対処方法 : `install_mu` がシステムを解析した結果、1 つまたは複数のファイルシステムで、パッチセット全体をインストールするのに十分なディスク容量がないことが判明しました。不足していると報告されたファイルシステムの空きディスク容量を増やして、`install_mu` を起動し直してください。MU3 を

適用するのに十分なディスク容量があるとわかっている場合は、`-f` オプションを指定して `install_mu` を起動し直してください。

Error Code 23:

Not enough disk space to save patch backout data.

説明と対処方法: `install_mu` がシステムを解析した結果、パッチのバックアウトデータを保存するのに十分なディスク容量がバックアウトディレクトリにないことが判明しました。十分なディスク容量を持つバックアウトディレクトリを選択して、`install_mu` を起動し直してください。バックアウトディレクトリに十分なディスク容量があるとわかっている場合は、`-f` オプションを指定して `install_mu` を起動し直してください。

Error Code 24:

Dry run disk space check failed.

説明と対処方法: `install_mu` は特別なオプションを指定して `pkgadd` を呼び出し、十分なディスク容量があるかどうかを検査します。/ または `/var` のディスク容量が極端に少ないか、システムが壊れている可能性があるため、`pkgadd` が異常終了しました。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 25:

The `-f` and `-D` options are mutually exclusive.

説明と対処方法: `-f` オプションを `install_mu` に指定すると、ディスク容量の事前計算を省略します。`-D` オプションを指定すると、その事前計算だけを行います。どちらか一方のオプションを選択するか、どちらも選択しないでください。

Error Code 26:

The `$service_area` service cannot be found on this system.

説明と対処方法: `install_mu` は、`/export/$service_area/var/sadm/pkg` ディレクトリ (`$service_area` は `-s` オプションの引数) を見つけることができませんでした。有効なサービス領域があるかどうか確認する必要があります。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 27:

Cannot find state file. Looked for a file of the form `$ROOTDIR/var/sadm/install_data/.mu_state.{root_or_usr.date_time}`.

説明と対処方法: `backout_mu` は、バックアウトするパッチを調べるために、`install_mu` によってインストールされたパッチのリストが入っているファイルが必要とします。このファイルがない場合、`backout_mu` は機能しません。

Error Code 28:

The `-T` parameter must be a directory. `$uTOOLDIR` is not a directory.

説明と対処方法: `-T` に指定したオプションがディレクトリではありません。`-T` オプションに有効なパスを指定して、もう一度 `backout_mu` を呼び出してください。

Error Code 29:

`-T` parameter does not point to a directory containing patching tools. Looked in `$uTOOLDIR` and in `$uTOOLDIR/MU/common/Tools`.

説明と対処方法: `backout_mu` はツール `installpatch.fast` と `backoutpatch.fast` を必要とします。これらのツールが `-T` オプションで指定したディレクトリにありませんでした。`-T` オプションに有効なディレクトリを指定して、もう一度 `backout_mu` を実行してください。

Error Code 30:

`backout_mu` cannot locate tools directory. Paths searched: `./common/Tools`, `MU/common/Tools`, `/cdrom/cdrom0/MU/common/Tools`

説明と対処方法: `backout_mu` は、さまざまなディレクトリでパッチツール `installpatch.fast` と `backoutpatch.fast` を検索しましたが、見つかりませんでした。`-T` オプションに有効なディレクトリを指定して、もう一度 `backout_mu` を実行してください。

Solaris 7 MU3 の内容

この付録では Solaris 7 MU3 の内容を示します。

たとえば、以下はパッチの全要素の一覧表示です。

106541-01 : SunOS 5.7: kernel update patch

4139770 4140352 4170500 4174167 4179407

- 106541-01 はパッチの ID 番号です。
- SunOS 5.7: kernel update patch は、パッチの概要です。

4139770 4140352 4170500 4174167 4179407 は、パッチ ID 106541-01
によって修正されたバグ ID 番号です。

パッチリスト (SPARC 用)

106144-09 : SunOS 5.7: Elite3D AFB Graphics Patch

4136467 4160577 4163164 4165917 4169127 4170600 4170604 4172542 4175212 4178791
4175184 4184293 4186140 4175013 4182420 4156144 4157108 4176160 4176185 4200455 4201148
4187303 4204070 4209616 4177108 4221200 4225365 4229537 4236011 4232947 4233704 4245211

106145-08 : SunOS 5.7: Creator 7 FFB Graphics Patch

4178791 4175013 4182420 4156144 4012535 4156098 4160585 4165396 4172537 4173830
4187303 4204070 4209616 4226313 4236011 4232947 4245211

106146-07 : SunOS 5.7: M64 Graphics Patch

4166676 4166564 4167729 4174185 4174287 4174783 4175630 4175668 4175851 4178198
4182726 4185216 4185486 4189734 4175585 4191155 4191632 4194640 4198192 4199987 4204624
4205110 4192291 4210359 4109173 4147781 4192921 4211738 4219116 4219978 4225222

(続く)

続き

106147-03 : SunOS 5.7: VIS/XIL Graphics Patch
4163883 4172620 4182420

106148-05 : SunOS 5.7: XFB Graphics Patch
4178791 4176160 4176185 4200235 4187566 4221205

106327-05 : SunOS 5.7: Shared library patch for C++
1136478 1146175 1147577 1147044 1148647 1151825 1159647 1160084 1161999 1165177
1169658 1164100 1166414 1171426 1172054 1172379 1173166 1178171 1187592 1180564 1184772
1182934 1174107 1193580 1194462 1195674 1232632 1232579 1232305 1223494 1259645 1262573
1254838 1264396 1265054 4022750 4005413 4079317 4082776 4100882 4121018 4089011 4067988
4050876 4100612 4123883 4181458 4173766 4103581 4183435 4187260 4187325 4191439 4058012
4101606 4132688 4190043 4193618 4199857

106541-06 : SunOS 5.7: kernel update patch
4104625 4112730 4115711 4115715 4120985 4132290 4136059 4138467 4139770 4140352
4143503 4147402 4152055 4154939 4155392 4159337 4165983 4166495 4167270 4168739 4170410
4170500 4173696 4174167 4174331 4175299 4175350 4175558 4176940 4177334 4177496 4178298
4178455 4179342 4179407 4179883 4181570 4182043 4182047 4182227 4182234 4182240 4182970
4184015 4184305 4184430 4184786 4184788 4184852 4184877 4185110 4185366 4185742 4186155
4188005 4190083 4190117 4190138 4190405 4190466 4190566 4190796 4190807 4190812 4191544
4192056 4192195 4192227 4192420 4192639 4192698 4193375 4193378 4193379 4193380 4193381
4193383 4193467 4193657 4194789 4196986 4197418 4197450 4197461 4198134 4198723 4198942
4199032 4199606 4200121 4200817 4201921 4203394 4204046 4205009 4206401 4209971 4210841
4211024 4211033 4211618 4212524 4212620 4212634 4212925 4213705 4214611 4214739 4216224
4217122 4219071 4219851 4223353 4224086 4224714 4224729 4226963 4233009 4236372 4238230
4240566 4242668

106733-06 : SunOS 5.7: Create a patch analyzer
4170691 4175875 4178977 4132282 4186583 4186586 4186587 4186588 4242739

106793-03 : SunOS 5.7: ufsdump and ufsrestore patch
4077276 4132365 4145883 4169853 4184189 4240566

106843-01 : OpenWindows 3.6.1 (japanese) fixed OW ws menu bug for sparc
4177882

106857-09 : SunOS 5.7: European locale updates
4179837 4175110 4203951 4193529

106879-01 : Power_Mgmt-SW 7: sys-suspend patch
4174133

106887-02 : SunOS 5.7: SunVideo 1.4 Patch
4197200 4233236

106915-02 : SunOS 5.7: dtmail in zh.GBK can't read 2.5.1 Chinese email by default.
4182320 4231572

106917-01 : SunOS 5.7: when view mails change charset, dtmail dump core.
4175029

(続く)

続き

106924-01 : SunOS 5.7: /kernel/drv/isp and /kernel/drv/sparcv9/isp patch
4166035

106925-01 : SunOS 5.7: /kernel/drv/glm and /kernel/drv/sparcv9/glm patch
4162302 4176924

106926-04 : SunOS 5.7: sdtudctool, sdtudc_register and sdtudc_extract patch
4199125 4178971 4183926 4178952 4178964 4162315 4176705 4179808 4192450 4189691
4212116 4209084

106934-03 : CDE 1.3: libDtSvc Patch
4181281 4167347 4191060 1194724

106936-01 : SunOS 5.7: /etc/cron.d/logchecker patch
4094591

106938-02 : SunOS 5.7: libresolv patch
4134616 4211042

106940-01 : SunOS 5.7: /usr/sbin/makedbm patch
4144726

106942-03 : SunOS 5.7: libnsl, rpc.nisd and nis_cachemgr patch
4152002 4157559 4161969 4162879 4186012

106944-02 : SunOS 5.7: /kernel/fs/fifofs and /kernel/fs/sparcv9/fifofs patch
4166116 4211236

106946-01 : SunOS 5.7: /usr/sbin/sar patch
4175435

106948-01 : SunOS 5.7: /kernel/drv/qe and /kernel/drv/sparcv9/qe patch
4154455

106949-01 : SunOS 5.7: BCP (binary compatibility) patch
4169198

106950-06 : SunOS 5.7: linker patch
4159122 4165487 4173576 4174468 4176579 4179880 4188527 4188843 4194264 4205087
4214649 4215164 4215587 4225937 4234657 4235241

106952-01 : SunOS 5.7: /usr/bin/uux patch
4179980

106959-01 : SunOS 5.7: last portion of audio file gets chopped or repeats
4184851

106960-01 : SunOS 5.7: Manual Pages for patchadd.1m and patchrm.1m
4178212

106963-01 : SunOS 5.7: /kernel/drv/esp and /kernel/drv/sparcv9/esp patch
4176942

(続<)

続き

- 106967-01 : SunOS Release: 5.7 htt server unexpectedly restart
4172429
- 106969-01 : SunOS 5.7: zh.GBK, Input Method, Alt+1 sometimes can not work properly
4183054
- 106971-01 : xetops of zh.GBK locale doesn't process TAB character
4187748
- 106973-01 : SunOS 5.7: Correct translation error.
4176030
- 106978-08 : SunOS 5.7: fix for sysid
4166260 1213369 4204782 4205403 4207595 4208607 4211403 4225369 4229542 4236194
4235726
- 106980-05 : SunOS 5.7: libthread patch
4157739 4173285 4173422 4189981 4207409 4209710 4209713 4220253
- 106982-01 : SunOS 5.7: /kernel/drv/fas and /kernel/drv/sparcv9/fas patch
4172361
- 106985-01 : SunOS 5.7: /usr/sbin/uadmin and /sbin/uadmin patch
4167438
- 106987-02 : SunOS 5.7: /usr/sbin/tar patch
4118310 4159872
- 106999-01 : SunOS 5.7: /usr/lib/adb/sparcv9/adbsub.o patch
4164583
- 107001-01 : CDE 1.3: Actions patch
4157154
- 107003-03 : SunOS 5.7: Updated Lucida Hebrew Fonts for Solaris 7
4187022
- 107011-01 : CDE 1.3: sdtwebclient patch
4110777 4164680 4185288
- 107014-01 : XIL 1.4: Deskset Loadable Pipeline Libraries pgx24 and snapshot fix
4177176 4174709
- 107018-01 : SunOS 5.7: /usr/sbin/in.named patch
4134616
- 107022-03 : CDE 1.3: Calendar Manager patch
4184188 4117156 4230754
- 107031-01 : SunOS 5.7: /usr/ucb/ucblinks patch
4161576
- 107033-01 : Solaris 7: xetops crashes for BIG5

(続く)

続き

4188052

107038-01 : SunOS 5.7: apropos/catman/man/whatis patch
4107178 4154565

107042-03 : SunOS 5.7: JFP install/sysadm messages patch
4217570 4221453

107044-01 : SunOS 5.7: Russian and Polish print failure on some printers
4190105

107049-01 : Solaris 7: dtlogin language menu displays wrong info
4176962

107059-01 : SunOS 5.7: /usr/bin/sort and /usr/xpg4/bin/sort patch
4181185

107063-01 : Solaris 7: Thai engine crashes in 64bit mode
4186151

107072-01 : CDE 1.3: Spell Checker patch
4185079

107074-01 : SunOS 5.7: SUNWultratest doesn't support sun4us platform
4190729

107076-01 : SunOS 5.7: /usr/kernel/drv/vol and /usr/kernel/drv/sparcv9/vol patch
4181968

107078-10 : OpenWindows 3.6.1 Xsun Patch
4183231 4163790 4184889 4178200 4194588 4192179 4168571 4204224 4208458 4102279
4198669 4209569 4136721 4102279 4206665

107081-06 : Motif 1.2.7: Runtime library patch
4159034 4149711 4171291 4170491 4162369 4165677 4171723 4174322 4183749 4186734
4186826 4128879 4191550 4197157 4197929 4197924 4207929 4209526 4211104 4224885 4226996
4201602 4219810 4191346

107115-02 : SunOS 5.7: LP Patch
4085677 4095132 4129917 4156106 4165358 4167443 4179341

107117-05 : SunOS 5.7: libbsm patch
4166626 4167174 4168892 4172111 4172702 4174308 4179861 4182072 4187811 4188193
4194454 4196408 4196541 4218800

107119-04 : SunOS 5.7: JFP manpages patch
4185342 4190255 4195644 4199110 4222912

107121-02 : SunOS 5.7: uata and dad driver patch
4179264 4186223 4205336 4212490

107124-03 : SunOS 5.7: JFP message files patch
4195663 4216216 4240891

(続く)

続き

107127-02 : SunOS 5.7: /usr/lib/autofs/automountd patch
4188020

107136-01 : Solaris 7: Fixed Dtmall Shortcuts to be consistent with English
4181490

107138-01 : Solaris 7: Fixed SUNW5ttf package to display ps files
4178539

107147-04 : SunOS 5.7: pci driver patch
4170981 4177530 4180438 4205258 4205298 4224713

107147-04 : SunOS 5.7: pci driver patch
4170981 4177530 4180438 4205258 4205298 4224713

107148-03 : SunOS 5.7: /kernel/fs/cachefs and /kernel/fs/sparcv9/cachefs patch
4170190 4170376 4171181

107171-03 : SunOS 5.7: Fixes for patchadd and patchrm
4186941 4176890 4190866 4150762 4193454 4194281 4194308 4224092 4245279

107178-01 : CDE 1.3: libDtHelp.so.1 patch
4193245

107180-06 : CDE 1.3: dtlogin patch
4178402 4178408 4178415 4178431 4184874 4189472 4190072 4190214 4201306 4205939
4198977 4225029 4225037 4213502 4170777

107185-01 : SunOS 5.7: Miscellaneous Russian KOI8-R problems
4195697 4189003 4194495

107187-01 : SunOS 5.7: Miscellaneous Eastern European locale problems
4174452 4179411 4138017

107200-05 : CDE 1.3: dtmail patch
4190570 4201459 4191180 4180102 4134913

107209-06 : Solaris 7: WOS Message Updates

107219-01 : CDE 1.3: dtprintinfo patch
4007233 4191060 4191065

107226-04 : CDE 1.3: dtwm patch
4169837 4209745 4212855 4230855

107233-01 : OpenWindows 3.6.1: xterm patch
4184297

107248-01 : CDE 1.3: sdtaudio patch
4189907

(続く)

続き

107250-02 : OpenWindows 3.6.1 libsv8.so.1 Patch
4194602

107259-01 : SunOS 5.7: /usr/sbin/vold patch
4194660

107285-01 : SunOS 5.7: passwd & pam_unix.so.1 patch
4172457

107292-01 : SunOS 5.7: ifp driver patch
4185774

107293-01 : SunOS 5.7: libgss.so.1 and gsscred patch
4195223

107306-01 : CDE 1.3: dtfile patch
1194724 4195992 4185042

107316-01 : SunOS 5.7: localeconv() returns wrong results for French
4192615

107330-01 : SunOS 5.7: /usr/sbin/ntpdate patch
4201436

107332-02 : SunOS 5.7: libadm patch
4197828

107337-01 : OpenWindows 3.6.1: KCMS configure tool has a security vulnerability
4199722

107351-01 : XGL 3.3.1: XGL Patch (stripped version)
4202983 4172537

107359-01 : SunOS 5.7: BCP (binary compatibility) patch
4198681

107401-01 : SunOS 5.7: /usr/bin/iostat patch
4085790

107403-01 : SunOS 5.7: rlmmod & telmod patch
4204044

107409-01 : Solaris 7: dtfile Menu is localized
4181159

107413-01 : Solaris 7: Fix Translation "Incomplete last line" in vi for zh/zh.GBK
4202972

107415-01 : Solaris 7: Result of TAB in xetops of zh.GBK isn't the same with vi
4202006

107419-01 : Solaris 7: missing snapshot files
4181454

(続く)

続き

107430-01 : SunOS 5.7: Installer utility used by NCR breaks under Solaris 7
4205603

107432-03 : SunOS 5.7: CTL printing patch
4210384 4172142 4173334 4210140

107437-03 : Solaris 7: support IBM Cp837 and Cp874 iconv modules(th_TH)
4212930 4228950

107438-02 : SunOS 5.7: iso8859-15 locale copy and paste fix
4203951 4244676

107441-01 : SunOS 5.7: /usr/bin/mailx patch
4207629

107443-05 : SunOS 5.7: packaging utilities patch
4155622 4176616 4197238 4199317 4222097 4226928 4244631 4249447

107448-01 : SunOS 5.7: /usr/lib/fs/cachefs/cachefsd patch
4204223

107450-01 : SunOS 5.7: /platform/SUNW,Ultra-Enterprise-10000/lib/cvcd patch
4198962

107451-02 : SunOS 5.7: /usr/sbin/cron patch
4177427 4184825 4196408

107453-01 : SunOS 5.7: Ultra-80 platform patch
4210707

107454-03 : SunOS 5.7: /usr/bin/ftp patch
4138598 4193146 4197316

107456-01 : SunOS 5.7: /etc/nsswitch.dns patch
1194875

107458-02 : SunOS 5.7: sd & ssd drivers patch
4169315 4169319 4174794 4196836 4204491 4212961 4224495

107459-01 : SunOS 5.7: qec driver patch
4106428

107460-03 : SunOS 5.7: st driver patch
4166568 4166574 4166583 4206636 4208102 4211607

107462-01 : SunOS 5.7: /kernel/sched/TS patch
4201921

107465-02 : SunOS 5.7: /kernel/fs/hsfs and /kernel/fs/sparcv9/hsfs patch
4193932 4218422

107499-02 : SunOS 5.7: koi8-R -ow hanged before dtlogin screen

(続く)

続き

4192535

107546-02 : OpenWindows 3.6.1: Ultra 80 Support Patch
4212493

107551-01 : SunOS 5.7: /usr/bin/date and /usr/xpg4/bin/date patch
4167131

107553-01 : SunOS 5.7: /usr/kernel/drv/ipdcm & /usr/kernel/drv/sparcv9/ipdcm patch
4193690

107555-01 : SunOS 5.7: /usr/lib/libldap.so.3 & /usr/lib/sparcv9/libldap.so.3 patch
4182937 4200010

107577-01 : SunOS 5.7: japanese installer utility patch
4221385

107584-01 : SunOS 5.7: /usr/lib/vold/dev_cdrom.so.1 patch
4062297

107587-01 : SunOS 5.7: /usr/lib/acct/lastlogin patch
4212054

107589-02 : SunOS 5.7: se, zs, kbd and kbio.h patch
4144228 4145265 4147705 4159098 4164468 4176071 4177655 4178060 4190872 4191338
4194055 4199552 4202013

107624-01 : SunOS 5.7: /usr/lib/fs/ufs/df patch
4211712

107628-01 : SunOS 5.7 sdtwebstart.dt 599 l10n_euro message updates

107638-01 : Solaris 7: Fix the problem with font size change in dtstyle
4201168

107680-01 : SunOS 5.7: /kernel/sys/msgsys and /kernel/sys/sparcv9/msgsys patch
4058214

107684-01 : SunOS 5.7: sendmail patch
4214238

107688-01 : CDE 1.3 Actions patch
4215879

107691-01 : SunOS 5.7: l10n_euro message updates for SUNW*is SUNW*os 599

107700-01 : Solaris 7: Fixes the installation warning for zh.GBK
4222076

107702-01 : CDE 1.3: dtsession patch
4197661

(続く)

続き

107709-02 : SunOS 5.7: libssasmp/libssagent/snmpdx/mibiisa patch
4144431 4166235 4171108 4172607 4176076 4178419 4185282 4186361 4189025 4208419
4218931 4219323 4224859 4224980 4232111 4233051 4237139

107711-01 : cde 1.3: sdtvolcheck patch
4004473

107716-02 : SunOS 5.7: PGX32 Graphics Patch
4225083 4228453 4231943 4237268 4236513 4230823 4238896

107738-01 : SunOS 5.7: Estonian locale uses incorrect codeset (QU)
4192473

107744-01 : SunOS 5.7: /usr/bin/du and /usr/xpg4/bin/du patch
4221507

107784-03 : SunOS 5.7: Manual Pages for Solaris 7 update 3
4246662 4242931 4184788 4165909 4195648 4166583 4214692 4214697 4167270 4169315
4180075 4193614 4189427 4173822 4186746 1070678 4136939 4153439 4162004 4171658 4170933
4169829 4146611 4147612 4165502 4166848 4178133 4179296 4181039 4181145

107792-01 : SunOS 5.7: /usr/bin/pax patch
4061087

107794-01 : SunOS 5.7: ASET patch
4202027

107796-01 : SunOS 5.7: /kernel/fs/lofs and /kernel/fs/sparcv9/lofs patch
4176333

107799-01 : SunOS 5.7: compress/uncompress/zcat patch
4217213

107807-01 : Xserver_2.7: xrdp patch
4221044

107811-01 : SunOS 5.7: Japanaese iconv patch
4216797 4232724

107813-01 : SunOS 5.7: Japanaese UTF-8 iconv patch
4216797 4221058 4232724

107817-01 : Solaris 7: Fix Garbage characters display
4206605

107834-01 : SunOS 5.7: /usr/include/sys/dkio.h patch
4201824

107836-01 : SunOS 5.7: /usr/sbin/format patch
4165909

107838-01 : SunOS 5.7: libtnfctl patch

(続く)

続き

4192482

107841-01 : SunOS 5.7: /kernel/misc/rpcsec and /kernel/misc/sparcv9/rpcsec patch
4198273

107843-01 : SunOS 5.7: /sbin/init and /usr/sbin/init patch
4225983

107891-01 : SunOS 5.7: Openwindows not supported by some euro locales
4174253

107899-01 : SunOS 5.7: /platform/SUNW,Ultra-Enterprise-10000/lib/dr_daemon patch
4229238

107919-01 : SunOS 5.7: /usr/include/sys/mhd.h patch
4236793

107933-01 : SunOS 5.7: I10n_euro message updates for SUNW*is SUNW*os 899

107972-01 : SunOS 5.7: /usr/sbin/static/rcp patch
4240566

108029-01 : SunOS 5.7: S899 u3 prodreg fix for Java 1.1 and Java 1.2 VM
4244075

パッチリスト (Intel 用)

106328-05 : SunOS 5.7_x86: Shared library patch for C++
1136478 1146175 1147577 1147044 1148647 1151825 1159647 1160084 1161999 1165177
1169658 1164100 1166414 1171426 1172054 1172379 1173166 1178171 1187592 1180564 1184772
1182934 1174107 1193580 1194462 1195674 1232632 1232579 1232305 1223494 1259645 1262573
1254838 1264396 1265054 4022750 4005413 4079317 4082776 4100882 4121018 4089011 4067988
4050876 4100612 4123883 4181458 4173766 4103581 4183435 4187260 4187325 4191439 4173220
4180435 4058012 4101606 4132688 4190043 4193618 4199857

106542-06 : SunOS 5.7_x86: kernel update patch
1264344 4104844 4115711 4115715 4120985 4122009 4136059 4138467 4139770 4143503
4147402 4152055 4155392 4163335 4165983 4166495 4167270 4168739 4170410 4170500 4170602
4173696 4174167 4174331 4174354 4175299 4175558 4176940 4177496 4178298 4178455 4179342
4179407 4179883 4181570 4182043 4182047 4182227 4182234 4182240 4182970 4184015 4184430

(続く)

続き

4184786 4184788 4184852 4184877 4185110 4185366 4185742 4186155 4186202 4188005 4188212
4190083 4190138 4190405 4190466 4190566 4190796 4190807 4190812 4190962 4190995 4191544
4192056 4192195 4192420 4192639 4193375 4193378 4193379 4193380 4193381 4193383 4193467
4193657 4194509 4196986 4196994 4196998 4197140 4197418 4197422 4197461 4198134 4198723
4198942 4199032 4199042 4199606 4200121 4200447 4200817 4200972 4201921 4202082 4203157
4204046 4205009 4205612 4206401 4212524 4212620 4212634 4212925 4214611 4214739 4217122
4219071 4223353 4224086 4226963 4233009 4236372 4238230 4240566 4242668

106734-06 : SunOS 5.7_x86: Create a patch analyzer
4170691 4175875 4178977 4132282 4186583 4186586 4186587 4186588 4242739

106737-02 : OpenWindows 3.6.1_x86: mailtool vacation security patch
4170200

106794-03 : SunOS 5.7_x86: ufsdump and ufsrestore patch
4077276 4132365 4145883 4169853 4184189 4240566

106821-03 : SunOS 5.7_x86: ctl print utility patch
4172142 4173334

106916-02 : SunOS 5.7_x86: dtmail in zh.GBK can't read 2.5.1 Chinese email.
4182320 4231572

106918-01 : SunOS 5.7_x86: when view mails change charset, dtmail dump core.
4175029

106927-04 : SunOS 5.7_x86: sdtudctool, sdtudc_register and sdtudc_extract patch
4199125 4178971 4183926 4178952 4178964 4162315 4176705 4179808 4192450 4189691
4212116 4209084

106928-01 : OpenWindows 3.6.1 (japanese) OW ws menu bug for _x86
4177882

106931-08 : SunOS 5.7_x86: European locale updates
4179837 4175110 4193529 4203951

106935-03 : CDE 1.3_x86: libDtSvc Patch
4181281 4167347 4191060 1194724

106937-01 : SunOS 5.7_x86: /etc/cron.d/logchecker patch
4094591

106939-02 : SunOS 5.7_x86: libresolv patch
4134616 4211042

106941-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/makedbm patch
4144726

106943-03 : SunOS 5.7_x86: libnsl, rpc.nisd and nis_cachemgr patch
4152002 4157559 4161969 4162879 4186012

106945-02 : SunOS 5.7_x86: /kernel/fs/fifofs patch
4166116 4211236

(続く)

続き

106947-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/sar patch
4175435

106951-06 : SunOS 5.7_x86: linker patch
4159122 4165487 4173576 4174468 4176579 4176796 4179880 4188527 4188843 4194264
4205087 4214649 4215164 4215587 4225937 4234657 4235241

106953-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/bin/uux patch
4179980

106961-01 : SunOS 5.7_x86: Manual Pages for patchadd.1m and patchrm.1m
4178212

106968-01 : SunOS 5.7_x86: htt server unexpectedly restart
4172429

106970-01 : SunOS 5.7_x86: zh.GBK, Input Method, Alt+1 sometimes work improperly
4183054

106972-02 : SunOS 5.7_x86: xetops of zh.GBK locale doesn't process TAB character
4187748

106979-08 : SunOS 5.7_x86: fix for sysid
4166260 1213369 4204782 4205403 4207595 4208607 4211403 4225369 4229542 4236194
4235726

106981-05 : SunOS 5.7_x86: libthread patch
4157739 4173285 4173422 4189981 4207409 4209710 4209713 4220253

106986-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/uadmin and /sbin/uadmin patch
4167438

106988-02 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/tar patch
4118310 4159872

107002-01 : CDE 1.3_x86: Actions patch
4157154

107012-01 : CDE 1.3_x86: sdtwebclient patch
4110777 4164680 4185288

107015-04 : SunOS 5.7_x86: sd bug fixes.
4170911 4165914 4170657 4182538 4165905 4171479 4232401 4220005

107016-01 : SunOS 5.7_x86: NCR pplusmp patch
4181438

107017-01 : SunOS 5.7_x86: SPWR Patch
4155766 4183567

107019-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/in.named patch
4134616

(続く)

続き

107023-03 : CDE 1.3_x86: Calendar Manager patch
4184188 4117156 4230754

107025-01 : SunOS 5.7_x86: ata bug fixes.
4183194

107032-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/ucb/ucblinks patch
4161576

107034-01 : Solaris 7_x86: xetops crashes for BIG5
4188052

107039-01 : SunOS 5.7_x86: apropos/catman/man/whatis patch
4107178 4154565

107043-03 : SunOS 5.7_x86: JFP install/sysadm messages patch
4217570 4221453

107045-01 : SunOS 5.7_x86: Russian and Polish print failure on some printers
4190105

107050-01 : Solaris 7_x86: dtlogin language menu displays wrong info
4176962

107060-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/bin/sort and /usr/xpg4/bin/sort patch
4181185

107073-01 : CDE 1.3_x86: Spell Checker patch
4185079

107075-01 : SunOS 5.7_x86: SUNWultratest doesn't support sun4us platform
4190729

107077-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/kernel/drv/vol patch
4181968

107079-10 : OpenWindows 3.6.1_x86: Xsun Patch
4183231 4184889 4178200 4192179 4168571 4208458 4102279 4198669 4209569 4136721
4206665

107082-06 : Motif 1.2.7_x86: Runtime library patch
4159034 4149711 4171291 4170491 4162369 4165677 4171723 4174322 4183749 4186734
4186826 4128879 4191550 4197157 4197929 4197924 4207929 4209526 4211104 4224885 4226996
4191346 4201602 4219810

107116-02 : SunOS 5.7_x86: LP Patch
4085677 4095132 4129917 4156106 4165358 4167443 4179341

107118-05 : SunOS 5.7_x86: libbsm patch
4166626 4167174 4168892 4172111 4172702 4174308 4179861 4182072 4187811 4188193
4194454 4196408 4196541 4218800

(続く)

続き

107120-04 : SunOS 5.7_x86: JFP manpages patch
4185342 4190255 4195644 4199110 4222912

107125-02 : SunOS 5.7_x86: JFP message files patch
4195663 4240891

107128-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/lib/autofs/automountd patch
4188020

107129-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/i86/sysdef patch
4187740

107137-01 : Solaris 7_x86: Fixed Dtmmail Shortcuts to be consistent with English
4181490

107139-01 : Solaris 7_x86: Fixed SUNW5ttf package to display ps files
4178539

107149-02 : SunOS 5.7_x86: /kernel/fs/cachefs patch
4170190 4171181

107172-03 : SunOS 5.7_x86: Fixes for patchadd and patchrm
4186941 4176890 4190866 4150762 4193454 4194281 4194308 4224092 4245279

107179-01 : CDE 1.3_x86: libDtHelp.so.1 patch
4193245

107181-06 : CDE 1.3_x86: dtlogin patch
4178402 4178408 4178415 4178431 4184874 4189472 4190072 4190214 4201306 4205939
4198977 4225029 4225037 4213502 4170777

107184-02 : SunOS 5.7_x86: Updated Lucida Hebrew Fonts for Solaris 7
4187022

107188-02 : SunOS 5.7_x86: Miscellaneous Eastern European locale problems
4174452 4179411 4138017

107201-05 : CDE 1.3_x86: dtmail patch
4190570 4201459 4191180 4180102 4134913

107210-06 : Solaris 7_x86: WOS Message Updates

107220-01 : CDE 1.3_x86: dtprintinfo patch
4007233 4191060 4191065

107227-04 : CDE 1.3_x86: dtwm patch
4169837 4209745 4212855 4230855

107234-01 : OpenWindows 3.6.1_x86: xterm patch
4184297

107249-01 : CDE 1.3_x86: sdtaudio patch

(続<)

続き

4189907

107260-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/vold patch
4194660

107286-01 : SunOS 5.7_x86: passwd & pam_unix.so.1 patch
4172457

107294-01 : SunOS 5.7_x86: libgss.so.1 and gsscred patch
4195223

107307-01 : CDE 1.3_x86: dtfile patch
1194724 4195992 4185042

107317-01 : SunOS 5.7_x86: localeconv() returns wrong results for French
4192615

107323-01 : SunOS 5.7_x86: /etc/driver_aliases patch
4193228

107328-04 : OpenWindows 3.6_x86: Common library, monitors, and configuration
4187574 4205588 4202883 4218668 4220038 4058078 4166376 4229567 4164774 4221251
4221709 4218791 4059766 4172554 4213037 4219187 4206802

107331-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/ntpdate patch
4201436

107333-02 : SunOS 5.7_x86: libadm patch
4197828

107339-01 : OpenWindows 3.6.1_x86: KCMS configure security vulnerability patch
4199722

107391-02 : SunOS 5.6_x86: pcplusmp patch
4187580 4217634

107393-05 : SunOS 5.7_x86: bootconf bug fixes.
4162292 4173065 4237204 4219717 4219988 4202793 4164753 4164755 4195019 4208893
4230493

107402-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/bin/iostat patch
4085790

107404-01 : SunOS 5.7_x86: rlmod & telmod patch
4204044

107410-01 : Solaris 7_x86: dtfile Menu is localized
4181159

107411-03 : Solaris 7_x86: support IBM Cp837 and Cp874 iconv modules(th_TH)
4212930 4228950

107414-02 : Solaris 7_x86: Fix Translation "Incomplete last line" in vi

(続く)

続き

4202972

107416-01 : Solaris 7_x86: Result of TAB in xetops isn't the same with vi
4202006

107420-01 : Solaris 7_x86: missing snapshot files
4181454

107431-01 : SunOS 5.7_x86: Installer utility used by NCR breaks under Solaris 7
4205603

107433-02 : SunOS 5.7_x86: ctmp printing utility patch.
4210384 4210140

107439-02 : SunOS 5.7_x86: iso8859-15 locale copy and paste fix
4203951 4244676

107442-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/bin/mailx patch
4207629

107444-05 : SunOS 5.7_x86: packaging utilities patch
4155622 4176616 4197238 4199317 4222097 4226928 4244631 4249447

107447-01 : SunOS 5.7_x86: /kernel/misc/i2o_msg patch
4203495

107449-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/lib/fs/cachefs/cachefsd patch
4204223

107452-02 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/cron patch
4177427 4184825 4196408

107455-03 : SunOS 5.7_x86: /usr/bin/ftp patch
4138598 4193146 4197316

107457-01 : SunOS 5.7_x86: /etc/nsswitch.dns patch
1194875

107461-03 : SunOS 5.7_x86: st driver patch
4166568 4166574 4166583 4206636 4208102 4211607

107463-01 : SunOS 5.7_x86: /kernel/sched/TS patch
4201921

107466-02 : SunOS 5.7_x86: /kernel/fs/hsfs patch
4193932 4218422

107500-02 : SunOS 5.7_x86: koi8-R -cde & ow hanged before dtlogin screen
4192535

107537-01 : SunOS 5.7_x86: kd patch
4203845

(続く)

続き

107552-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/bin/date and /usr/xpg4/bin/date patch
4167131

107554-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/kernel/drv/ipdcm patch
4193690

107556-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/lib/libldap.so.3 patch
4182937 4200010

107578-01 : SunOS 5.7_x86: japanese installer utility patch
4221385

107585-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/lib/vold/dev_cdrom.so.1 patch
4062297

107588-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/lib/acct/lastlogin patch
4212054

107625-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/lib/fs/ufs/df patch
4211712

107629-01 : SunOS 5.7_x86: sdtwebstart.dt 599 l10n_euro message updates

107639-01 : Solaris 7_x86: Fix the problem with font size change in dtstyle
4201168

107679-02 : OpenWindows 3.6_x86: Updated ATI video support.
4212681 4206075 4228307 4233396

107681-01 : SunOS 5.7_x86: /kernel/sys/msgsys patch
4058214

107685-01 : SunOS 5.7_x86: sendmail patch
4214238

107690-01 : CDE 1.3_x86 Actions patch
4215879

107692-01 : SunOS 5.7_x86: l10n_euro message updates for SUNW*is SUNW*os 599

107701-01 : Solaris 7_x86: Fixes the installation warning for zh.GBK
4222076

107703-01 : CDE 1.3_x86: dtsession patch
4197661

107710-02 : SunOS 5.7_x86: libssasmp/libssagent/snmpdx/mibiisa patch
4144431 4166235 4171108 4172607 4176076 4178419 4185282 4186361 4189025 4208419
4218931 4219323 4224859 4224980 4232111 4233051 4237139

107712-01 : cde 1.3_x86: sdtvolcheck patch

(続く)

4004473

107739-01 : SunOS 5.7_x86: Estonian locale uses incorrect codeset (QU)
4192473

107745-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/bin/du and /usr/xpg4/bin/du patch
4221507

107785-03 : SunOS 5.7_x86: Manual Pages for Solaris 7 update 3
4246662 4242931 4184788 4165909 4195648 4166583 4214692 4214697 4167270 4169315
4180075 4193614 4189427 4173822 4186746 1070678 4136939 4153439 4162004 4171658 4170933
4169829 4146611 4147612 4165502 4166848 4178133 4179296 4181039 4181145

107793-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/bin/pax patch
4061087

107795-01 : SunOS 5.7_x86: ASET patch
4202027

107797-01 : SunOS 5.7_x86: /kernel/fs/lofs patch
4176333

107800-01 : SunOS 5.7_x86: compress/uncompress/zcat patch
4217213

107808-02 : OpenWindows 3.6.1_x86: xrdp patch
4221044 4237304

107812-01 : SunOS 5.7_x86: Japanese iconv patch
4216797 4232724

107814-01 : SunOS 5.7_x86: Japanese UTF-8 iconv patch
4216797 4221058 4232724

107818-01 : Solaris 7_x86: Fix Garbage characters display
4206605

107835-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/include/sys/dkio.h patch
4201824

107837-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/format patch
4165909

107839-01 : SunOS 5.7_x86: libtnfctl patch
4192482

107842-01 : SunOS 5.7_x86: /kernel/misc/rpcsec patch
4198273

107844-01 : SunOS 5.7_x86: /sbin/init and /usr/sbin/init patch
4225983

107878-01 : SunOS 5.7_x86: /kernel/drv/cadp patch

(続く)

続き

4232354 4218072 4213974 4215327 4217029 4211748 4202184 4210415 4211749 4210505
4209951 4203809 4205612 4203811 4204641 4205186 4204682 4199541 4202188 4206303 4206704
4206791 4206871 4207140 4207152 4204603 4197248 4204285 4202186 4202194 4202187 4140090
4140102 4140103 4225895 4209852

107879-02 : SunOS 5.7_x86: /kernel/drv/ncrs patch
4189732 4198547 4205488 4207541 4207848 4212991 4230280 4230283 4009709 4011181
4017961 4155184 4173622 4215681 4230736 4165916 4174395 4165916

107892-01 : SunOS 5.7_x86: Openwindows not supported by some euro locales
4174253

107920-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/include/sys/mhd.h patch
4236793

107927-02 : SunOS 5.7_x86: /usr/include/sys/kbio.h patch
4240239

107934-01 : SunOS 5.7_x86: I10n_euro message updates for SUNW*is SUNW*os 899

107973-01 : SunOS 5.7_x86: /usr/sbin/static/rcp patch
4240566

108030-01 : SunOS 5.7_x86: S899 u3 prodreg fix for Java 1.1 and Java 1.2 VM
4244075